

伊東市総合計画 第5回 未来ビジョン会議

グループディスカッション <結果概要>

〈開催日時〉 2019年10月8日(火) 19:00~20:30

〈会場〉 健康福祉センター 2階大ホール

〈参加者〉 未来ビジョン会議委員 17人

〈テーマ〉 伊東市の将来像を描く

〈意見交換の内容〉

テーマ「伊東市の将来像を描く」では、下記にある各グループのテーマにあわせて、理想の伊東市がどのような姿であるかについて意見交換し、将来像のキャッチフレーズについて考えました。意見概要については次頁のとおり。

グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
テーマ1 医療、健康、福祉 分野	テーマ2 都市、中心市街地、 環境分野	テーマ3 教育、歴史、文化分 野	テーマ4 観光、農林、水産、 商工分野
5人	4人(1人欠席)	5人	3人(2人欠席)



■理想の伊東市はどのような姿か

○豊かな暮らし

- ・今あるものを大切にできるまち
- ・想像力が豊かなまち
- ・家でも家の外でもニコニコしている市民がたくさんなまち

○わかりやすい行政

- ・子どもも高齢者も障害のある方も、みんなが共存できる社会
- ・情報の共有、介護や児童生活保護など各課で必要なもの（データ）が使用できる
→申請主義では、本当に必要な人へ支援が届かない
- ・行政がたて割りではないまち
- ・自分たちが納める年金の使い道を納得して理解しているまち
- ・各種制度がまとまっている（アプリ等）

○子育てに優しい街

- ・子育ての相談がしやすい環境
- ・保育に関わる人材の労働環境が整っているまち
- ・公園の整備（駐車場完備）
- ・遊具がたくさんある楽しい公園
- ・雨の日でも遊べる場所が欲しい
- ・幼稚園にも給食があるとよい

○コミュニティがしっかりしている

- ・1人暮らしの高齢者が安心・安全に暮らせる
- ・地域の見守りコミュニティ
- ・ふれあい収集など、見守り機能の充実
- ・2,000万円貯めなくても暮らせるまち

○ずっと元気！

- ・車社会から歩く社会へ
- ・サイクリングが楽しいまち
- ・自宅介護の方の生きがい作り

→健康な方の交流の場はあるが、たとえ寝たきりでも楽しみは必要

- ・健康寿命が伸びている

○医療の充実

- ・医療施設の充実。健康に対する不安をなるべく解消した状態に
- ・病院の診療科の充実
- ・必要な医療が必要な人に届くまち
- ・情報が共有され、たらい回しにされない
- ・何科を受診すればいいか相談できる窓口
- ・コンシェルジュ（自分の健康状態を把握してくれる人、薬の服用歴や既往歴など）
- ・病院間の情報共有（一元化）

○温泉が交流の場に

- ・伊東の財産である温泉が健康増進につながり、多世代交流の場にもなるのでは

■将来像のキャッチフレーズ

○全ての世代が豊かに暮らせるまち

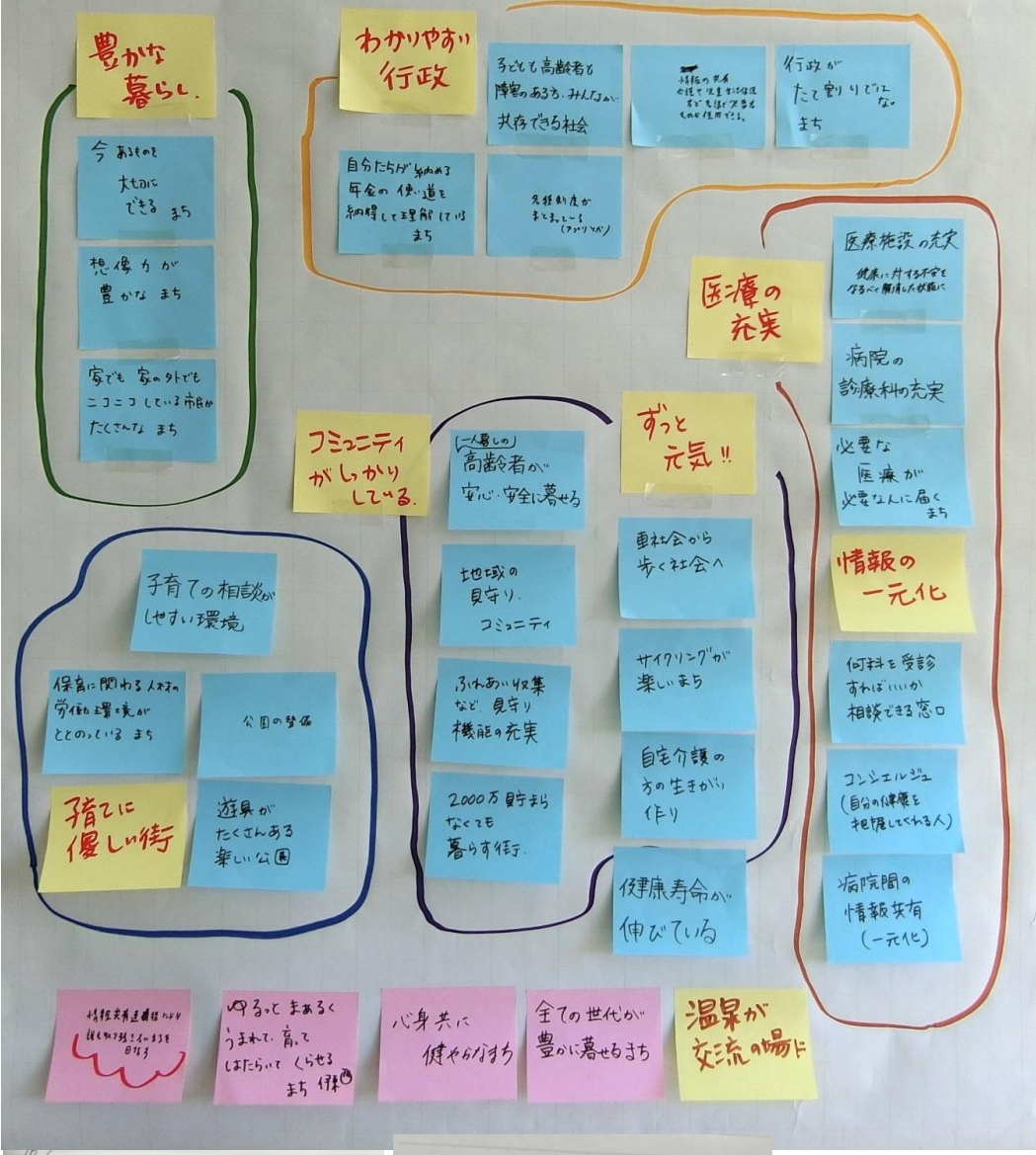
○心身共に健やかままち

○ゆるっとまあるくうまれて、育てはたらいてくらせるまち

○情報共有連結により、誰も取り残さないまちを目指す



グループ 医療・健康・福祉



10/2
伊東の駅のロータリーが不便。15分無料の駐車場が一般の人が利用できるスペースがタクシー専用場と2:3に少しあるといい。

10/2
公園のイメージが思い浮かぶ。思いの場がほしい。(駐車場付)

10/4
雨の日に下の子どもを連れて遊ぶ所がほしい。
川沿いに公園がほしい。

10/4
夏休み、幼稚園や小学生の子供が遊ぶ場所がほしい。(児童館のような)。
夏、水遊びができる公園(芝生や遊具がある大きい)がほしい。
幼稚園にも給食を取り入れてほしい。

◀ 「いとう子育てネットワーク・ゆう」の利用者さんからいただいたご意見

■理想の伊東市はどのような姿か

【住環境】

- 市民が豊かで安心して住める
 - ・安心して住める
 - ・市民向けの施設が充実している
 - ・高賃金で働ける場がたくさんある
 - ・人口10万人くらいの活気がある

【土地利用】

- 遊休地が活用される
 - ・専門学校、伊東市から出ないで!
 - ・キャンプの街伊東(グランピング)
 - ・遊休地がなくなる

【防災】

- 災害への備えが万全である
 - ・防災のまち 伊東
 - ・一流の防災体制、備品・シェルターがある

【中心市街地】

- 伊東らしさが表出されてにぎわう
 - ・これだ!というもののあるまち
 - ・伊東市しか無いものの確立
 - ・駅前が活性化する
 - ・大型集客施設や企業がある
 - ・回遊性の高いまち
 - ・鎌倉みたいに商店街の空きがない
 - ・食のまち伊東
 - ・「中心市街地」という概念がなくなるくらいどこでも快適に便利に暮らせる

【交通】

- 渋滞がなく便利に移動できる
 - ・観光客がたくさん来るけど渋滞がない
 - ・交通に対する不便さが払拭される
 - ・市内にモノレールが開通し、便利に移動できる
 - ・新幹線が停まる

【自然環境】

- 景観や環境が維持保全される
 - ・自然景観が維持されている
 - ・自然環境が維持されている

■将来像のキャッチフレーズ

- 笑顔が絶えまなくあふれるまち
- スイスイスマート伊東
- ひ孫と暮らすまち 伊東
- ソコソコ揃っている 伊東



都市・中心市街地・環境分野

住環境の理想

- 安心して住める
- 紙向け施設の充実
- 高賃金で働ける場
- 人口10万人

土地利用

- 専門学校
伊東市の
お宝いぞ!
- ファミリの街
伊東
(←コンビニ)
- 笑顔が絶え
たおふれる街
- スイスイ
スマート伊東
- 遊休地
がゼロ
- ひまじ
とくさ街
伊東
- ソコソ
揃、こ
び伊東

防災の理想

- 防災の街
伊東
- 一歩防災体制
備え、こた

中心市街地の理想

- 駅前
活性化
- これだ!!
というの
ある街
- 回遊性の
高い街
- 伊東市レ
ビイもの
確立
- 大型集客施設
企業
設置
- 飲食店
伊東
- 「中心市街地」
という概念が強い
- 鎌倉みたいな
商店街のまじ
がない

交通の理想

- 観光客が
たいてい
渋滞が
ない
- 交通に対し
不便で
なく
- 新幹線
が通る
- モーター
車
市内

自然環境の理想

- 自然景観が
維持されている
- 自然環境が
維持されている

グループ3 教育、歴史、文化分野

■理想の伊東市はどのような姿か

【教育】

○新しいカタチのハード&ソフトで人材の育成の未来像を造る

○発展した子供達の教育

- ・児童用タブレット、校内無線LAN、電子黒板など環境が整っている。
- ・IoT 教育の最先端の土地(伊豆諸島の学校と連携)
- ・教育特区(プログラミング、エンジニアの教育)

○子どもがすこやかに育つ多様な選択肢

- ・フリースクールの充実
- ・スクールカウンセラー、支援員の増加
- ・通学のための施策の充実(スクールバス)
- ・自由な授業選択(良いところを伸ばす)
- ・自然環境が子供たちの教育に活かされる

○高校生から支える伊東市

- ・新構想高校起爆剤に!
- ・魅力的な学校にしたい
- ・部活動がしやすい環境!
- ・部活動の選択肢が多くある(多様なスポーツ・文化)
- ・専門的な技術が学べる
- ・市外から伊東に通学する生徒を増える
- ・市内の高校が子供いっぱいになっている
- ・多言語教育(子供から老人まで)

○若者が意見を言えるまち

- ・若者が意見を言いやすい環境、まちづくり

【歴史・文化】

○今の時代に合ったにぎわいの創出

- ・様々な面でより観光地へ(歴史含め)
- ・地域のおまつりがにぎわっている
- ・砂浜が白くなっている
- ・温泉!

○文化的な発表のできるまち

- ・市内で文化部や文化的なことの発表の場がいっぱいある
- ・音響や舞台設備のしっかりしたホールがある(外部からも人が来る!)

【スポーツ】

○合宿の聖地 伊東

- ・〇〇の聖地的な場所が増えている
例えば…“合宿地”の聖地
- ・合宿地として有名に!
- ・充実したスポーツ施設
- ・スポーツで活性化
- ・オリンピック効果で発展
- ・スポーツの国際大会が開催されている

■将来像のキャッチフレーズ

※ グループ3では、○のタイトルがキャッチフレーズを兼ねています



教育・歴史・文化分野 スポーツ

3グループ

教育

発展した
子供達の
教育

環境整備
が整い、児童
用タブレット使用

校内無線
LAN

教育特区
プログラミング
エニシニア

電子黒板
になっている

IoT教育の
最先端のエリア
(伊豆諸島の学校に
多い)

子どもが
自由に育つ
多様な選択肢

新しいカタチの
ハード&ソフト
で人材の育成の
未来像も造る

フリースクール
の充実

自由な
授業選択
(自由選択
(自由))

スクールカウンセラー
支援員
の増加

自然環境が
子どもたちの教育
に活かせること

通学のための
施策の充実

スクールバス

今の時代は
合った
ニーズの
創出

歴史・文化

様々な面
より観光地へ
(歴史含む)

地域のおまつり
が盛況

砂浜が
白くなる

文化的な
発表の場
を

市内で文化部
文化の場
発表の場
音楽や舞台設備
が整った
会場
が
あり(外資系
人が多い)

合宿の聖地 伊東

スポーツ

オリンピック
効果で
発展

スポーツが
活性化

充実した
スポーツ施設

スポーツの国際
大会が開催
される

合宿地として
有名に!

〇〇聖地の
場所が増える

スポーツ施設が
たくさんある

合宿地の
聖地

温泉!

若者が
見に来る

高校生から
支える伊東市

若者が
見に来る
環境(街作り)

新構想高校
起爆剤に!

市外から伊東に
通学する生徒を
増やす

学校の部活動
の選択肢が
多くなる
(多様なスポーツ、文化)

魅力的な
学校にしたい

専門的な
技術の学習

市内の高校が
子供達の
部活動が
しやすい環境!

多言語
教育
子供から老人まで

■理想の伊東市はどのような姿か

- 古い考えを捨てている
 - ・多様な国の人々がまちを楽しんでいる
 - ・若返り
 - ・アイデアが実現しやすい
 - ・worldwide
 - ・住人の見聞を広げ、受け入れる心をもつ
 - ・伊東基準をやめる！
 - ・人種差別がない



- また来たいと思われるまち



- 多様な人が集まっている
 - ・観光地としての接客向上
 - ・小さい店で多様なサービスが増えている
 - ・様々な趣味が実現できるようになっている
 - ・駅前に本屋がある
 - ・ライブハウスがある
- 職場が働きやすくなっている
 - ・たくさんの移住者がいる
 - ・人手(職場)が増えている
 - ・若い人の休日が確保されている

- 協力体制が整っている
 - ・分かりやすいポータル
 - ・横のつながりがある、連携がある

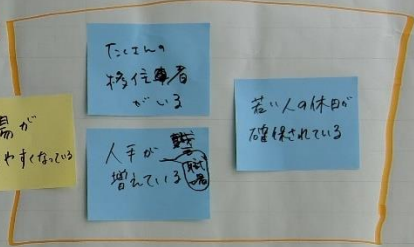
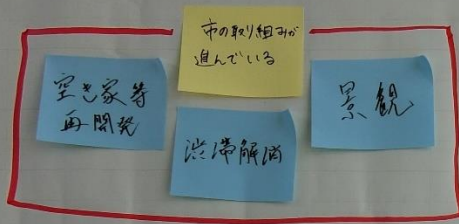
- 市の取り組みが進んでいる
 - ・空き家等再開発
 - ・渋滞解消
 - ・景観

■将来像のキャッチフレーズ

- AWAKEN
- Tolerant Ito
- 年齢・国籍・性別とわずパーソナリティが尊重されるまち 伊東



グループ4 観光・農林・木産・商工



AWAKEN

Tolerant ITO

新国産材の活用が推進される街にしよう!

